

## 今月のことば

真実に背き

真実から

逃げても

真実に

包まれている

(小池秀章『現代のことばで味わう 日めくり歎異抄』より)

龍谷大学非常勤講師  
小池秀章 こいけひであき

ある先生が、「真実には、嘘を破るはたらきがある」と言われました。どのような意味でしょう。

例えば、私がコップを割った時、「私はコップを割っていません」と言ったとします。この「私はコップを割っていません」という嘘は、「私がコップを割った」という真実によって、破られます。

また、「私は誰の世話にもならず、一人ががんばって生きています」と言ったとします。しかし、誰の世話にもならず、一人で生きられる人などいません。「私は誰の世話にもならず、一人ががんばって生きています」という嘘は、「多くのものと繋がり合い、支え合い、生かされている」という真実によって、破られるのです。

このように、真実には、嘘を破るはたらきがあるのです。私たちは、このような真実のはたらきの中に生かされています。真実に背くような生き方しか出来ていません。自己中心の心から、自分勝手な世界を創り出し、その中で、他人を傷つけ、自らも傷ついて生きています。

しかし、「真実に背き、真実から逃げて、真実に包まれている」のです。親鸞聖人は、そのような真実のはたらきを、アマダさまの撰取不捨(せんしゆふしよ)のはたらきとして、明らかにしてくださいました。「真実から逃げて、逃げて、どこまでも追いかけて来て、真実に導いてくださる」、そのようなアマダさまの撰取不捨のはたらきの中で、生かされていることを、忘れないでいたいと思います。

合掌